

# 特集2 ～非核平和と世界平和の実現のために～ 栃木市の非核平和事業

市では毎年、戦争や原子爆弾の被害を再認識するための事業を行っています。今年行った主な事業をご報告します。

## ◆原爆パネル展

延べ804人の方が来場しました。

- 6月24日～6月29日 藤岡公民館
- 7月1日～7月6日 都賀公民館
- 7月8日～7月13日 西方総合文化体育館
- 7月15日～7月20日 大平公民館
- 7月22日～7月27日 岩舟公民館
- 8月1日～8月6日 栃木文化会館展示室

※原爆の図九木美術館から借用した原爆の図複製画を併せて展示

## ◆戦争体験を聞く会

7月2日に都賀公民館にて、7月16日に大平公民館にて開催し、延べ125人の方にご来場いただきました。

- 高橋久子氏「私の被爆体験」
- 吉沢よし美氏「青雲の志に燃えて 渡満」
- 上野和子氏「学童疎開船対馬丸の悲劇」
- 丹羽正明氏「戦時中の食糧事情」

【以下、来場者アンケートから抜粋】

戦争でつらい思いをしたのに、体験話をしてくれてありがたうございました。話を聞いて、講師の方はとても大変でつらく悲しい思いをして一生忘れられず背負って生きてきたんですね。この先ずっと戦争なんかやってはいけないと思った。これからの子ども達にもこのような戦争体験の話をしていきたいと思った。平和に毎日過ごしていると、何も考えずただ毎日が過ぎていきます。今日は改めて考えさせられ、勉強になりました。まだまだつらい過去と共に生きていく人がいるんですね。周りの人に私も伝えていきたいと思いました。



## ◆広島平和記念式典中学生派遣

「広島平和記念式典中学生派遣団」として市立中学校(全14校)から2年生男女1人ずつ、計28人を派遣し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。

8月5日…平和記念公園・平和記念資料館見学

8月6日…平和記念式典参列、宮島見学、元安川灯ろう流し参加  
8月7日…千羽鶴奉納、被爆体験講話受講

## 【以下、派遣団員の活動報告から抜粋】

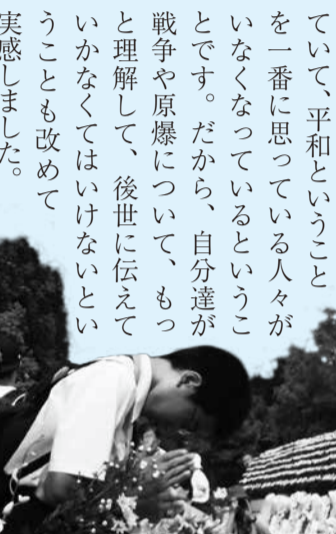
### ○平和記念資料館

平和記念資料館を見学して学んだこと、それは、「普通の生活」を送れるのは、ありがたいことだ、ということでした。私は今まで、普通の生活は当たり前なのだと思います。しかし、原爆の被害の様子や、遺品の数々を見て、それは違うと思ひ知らされました。なぜ、戦争で苦しんでも生活できていた人が、突然こんな目に遭わなければならぬのか、と怒りが湧きました。それと同時に、突然「普通」と切り離されてしまうことは誰にでも起こり得るのだと気がきました。

今は時代が変わり、こんなに大きな戦争は起きないかもしれませんが、しかし、突然変わってしまうことはあります。だから、今、「普通」に生活できていることに感謝したいです。そして、このようなことが日本でも、世界でも二度と起きないように、様々な人に「事実」を伝えていきたいと思ひます。

### ○平和記念式典

僕が、式典に参加して感じたことは、平和への願いが日本だけでなく世界にまで広がっているということでした。外国人の参加者がすごく多くて、戦争についてこれだけ多くの人が考えているのだなと感じました。しかし、その中で、被爆生存者が少なく、本当に原子爆弾のおそろしさを知っていて、平和ということを一歩に思っている人々がいなくなっているということとです。だから、自分達が戦争や原爆について、もっとと理解して、後世に伝えていかなくてはいけないということも改めて実感しました。



### ○元安川灯ろう流し

71年前、8月6日原爆投下直後、元安川に水を求めて、多くの被爆者の方が集まり亡くなりました。僕は、「二度と戦争がなく、世界の人々が幸せでありますように。」とメッセージを書き、灯ろうを流しました。亡くなった人達へのそれぞれの思いと、平和を願う気持ちが込められているのだと、感じました。また、たく

さんの外国の方々も平和を願う灯ろう流しをされていきました。世界みんなが、戦争のない平和な世界を願っているのです。

灯ろう流しを体験して、「平和」な世界のために、一人一人の思いが大切であり、世界で唯一の被爆国として、二度と戦争を繰り返してはいけないという思いを、伝え続けていかなければならないと、強く感じました。これらのメッセージが、世界の多くの人々に届くことを願っています。

### ○千羽鶴奉納

私は、「核のない世界の実現」、「世界中が平和になり、子どもたちが教育を受けられますように」という願いを込め、千羽鶴を奉納しました。原爆の子の像に捧げられている千羽鶴の多さに驚いたことを今も覚えています。たくさん奉納された千羽鶴を見て、「世界の平和を日本の人が、世界中の人が望んでいるのだな」、「千羽鶴の数だけ計りしれない原爆の悲しみがあるのだな」と感じました。同時に、自身の幸せを感じることができました。現在私達が教育を受けられるのは、日本が戦争を放棄して、教育を受ける権利を憲法で守ってくれているからなのだと感じました。

私たちにできること。それは佐々木禎子さんのように、戦争の犠牲となり学校へ通えなくなってしまう人達の分まで感謝の気持ち忘れず、学校生活を一生懸命送り、楽しむこと。また、佐々木禎子さんのように、どんな困難を前にしても前向きに生活を続けていくことだと考えます。そして平和を繋いでいくことだと千羽鶴の奉納を通して思いました。

### ○被爆体験講話

(講師：川本省三氏)

原爆で被害を受けたのは、建物だけではなく、多くの人の心も傷つけられてしまったというのを感じました。また、学歴がなく就職できなかったり、差別をされてしまうこともあったそうです。

講話の中で「学校に通えることは当たり前ではない」という言葉が印象的でした。今、僕達は当たり前のように学校に通えています。僕達は当たり前前にはない人がいるということを知りました。講話を聞いて、学校に通えること、家族と一緒にいられることなど、多くの日常のことへの感謝の気持ちを忘れずこれからの人生を歩んでいこうと思ひました。原爆の体験を話すことは、とてもつらいことだと思いますが、一生懸命に話して下さったので、多くの人に伝えていきたいと思ひます。

### ○全体の感想

私の住む国、日本で、こんなにも恐ろしいことが起きていたなんて、思いもよらないことでした。

私達28人は、栃木市の平和大使として、戦争の残酷さ、悲しさ、そして、家族も友達もいなくなってしまう孤独さ。それとともに、毎日ごはんが食べられる幸せや、お父さんお母さんなどの家族と友達がいて、笑顔で過ごせる当たり前の日々のありがたさを感じることができました。そして私達は、目で見えて、肌で感じて、耳で聞いてきた、様々なことを、家族や周りの友達、そして、学校みんなに伝えていかななくてはなりません。今もまだ心に深い傷を負っている人達のこと、二度と核兵器を使つてはいけないこと、戦争は決断していいことではないということ、たくさん覚えていることをわかりやすく伝えていけるよう、がんばりましょう。



栃木市非核平和都市宣言にもあるように、平和で安心して暮らせる社会の実現を求め、自ら行動できるよう、努力したいです。そして、3日間で学んだことを伝えていきたいです。

### ★千羽鶴の作製にご協力いただきありがとうございます。

各中学校で心を込めて作製した千羽鶴、パネル展等で市民の皆さんに作っていただいた折鶴は、大切に原爆の子の像に奉納してきました。

### ★8月26日、報告会を開催しました。

派遣団員の中学生が、今回の派遣で学んだことや感じたことを市民の皆さんの前で発表しました。今後は各校の学校祭などで発表し、原爆の恐ろしさや平和の尊さを全校生徒に伝えます。

◆問合せ先 本総務課 ☎(21)2342

**個人・法人・相続** に関する  
国税、地方税の申告・遺言・会社設立相談対応します。

**篠木税務会計事務所**

税理士・行政書士 篠木 一夫 敬  
税理士 渡邊 敬

〒328-0075 栃木市南都町2-15-25 オークラハイイツ1F (栃木女子高テニスコート近隣)  
TEL 0282(22)6611 FAX 0282(22)6618  
E-Mail shinogi-kaikei@cc9.ne.jp

**リフォーム・屋根・外壁塗装工事請負**

家の塗り替え、リフォームはいかがですか？  
地域で実績、信頼のある当社へ!!

◆作業員・管理者募集中◆ (各種保険完備)

**オオク建装工業株式会社**  
栃木市箱森町51-28 TEL0282-22-5981 (見積り無料)

**スタッドレスタイヤ 予約受付中!**

ヴォルテックス  
タイヤショップ **VORTEX** 株式会社 若色商会

栃木市城内町2-40-1 TEL 0282-22-8844  
定休日/年中無休 (お盆と年末年始除く)  
http://www.tire-vortex.com 営業時間/AM9:30~PM7:00